

ふるさと珠洲市 サポーターの皆様へ

平成 20 年度からスタートした『ふるさと納税制度』。皆様からお寄せいただきましたご寄附は、平成 24 年度は 35 件、4,773,751 円、平成 20 年度からの分を合わせますと 207 件、22,900,901 円に上り、多くの事業に活用させていただきました。今回は、平成 24 年度にご寄附を活用させていただきました事業の一部をご報告いたします。

珠洲市では、これからも『美しい里山里海の自然環境の保全』と『子どもからお年寄りまでが元気で暮らせる住みよいまちづくり』の実現を目指してまいります。

自然エネルギー P R 館の 整備のために 活用しました

旧宝立小学校跡地に建設が進められていたメガソーラー発電所『珠洲太陽光発電所』が完成し、平成 24 年 10 月 31 日から稼働を開始しました。これに併せ、市では、旧施設を活用して、環境に優しい再生可能エネルギーや自然との共生を目指す本市の取組を学ぶことができる『自然エネルギー P R 館』を整備しました。



その事業費の一部に『ふるさと納税』を活用させてい

ただきました。館内では、パネル展示等により太陽光発電や風力発電、バイオマスメタン発酵処理施設など、本市における自然エネルギーの取組を分かり易く解説するほか、大型ディスプレイにより本市における世界農業遺産や里山里海自然学校での事業など、自然との共生に関する取組を紹介しています。今後も市民の皆様が環境学習の場として、また、『自然と共生する珠洲市』の構築に向けて、活用していきたいと考えています。

里山里海の保全活動等を 支援するために 活用しました

市では、『自然と共生する珠洲市』を築く取組の一つとして、市民の皆様をはじめ多くの方々に世界農業遺産に認定された里山里海や生物多様性の維持保全等に積極的に関わっていただくとともに、その取組を支援するため、平成 24 年 7 月に『珠洲市里山里海応援基金』を創設しました。その

基金の一部に『ふるさと納税』を活用させていただきました。

世界農業遺産の認定を活かした農林水産物の付加価値向上や交流人口の拡大など、本市の特色を活かした活用策の実践や、豊かな里山里海に根ざした伝統文化や生物多様性等の保全継承を目的とした取組に対し、補助を行っています。

これまでに、地域住民によるほたる観賞地の整備や植林による荒廃山林の再生活動など、7 件の事業が認定・実施されています。今後も世界農業遺産というプレミアを活かし、地域そのもののブランド化に向けて、取り組んでいきたいと考えています。

里山里海マイスター等の 移住定住支援のために 活用しました

三崎町の旧小泊小学校校舎において、平成 19 年度から 5 年間、金沢大学による『能登里山マイスター養成プログラム』が実施され、地域の次世代を担う 62 名



の修了生が輩出されました。そして、平成 24 年 10 月からは、これまでの取組を継承・発展させる新たな人材育成事業である『能登里山里海マイスター育成プログラム』が金沢大学、石川県及び奥能登 2 市 2 町の共同事業として、40 名の受講生を迎えてスタートしています。

市では、この新たなプログラムの開始に併せ、市外や県外からも多くの若い方々が移住し、受講していただけるよう、独自の居住費支援制度を創設し、その補助金の一部に『ふるさと納税』を活用させていただきました。

高齢者の生活を 支援するために 活用しました

地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は特に重要です。平成 24 年度は、若山小・蛸島小・緑丘中学校の体育館の耐震改修工事を行い、併せて内装の改修（トイレの洋式化や更衣室の増設、フロアリングの改修等）も実施しました。その事業費の一部に『ふるさと納税』を活用させていただきました。

子どもたちは、きれいに改修された体育館を元氣一杯に走り回っています。珠洲市の子どもたちの将来を第一に考え、今後も教育施設の充実に取り組んでいきたいと考えています。



小・中学校体育館の 耐震改修のために 活用しました

学校体育館は、体育授業や部活動による児童・生徒の体力向上に欠かせない施設です。珠洲市や日本の将来を担う子どもたちが 1 日の生活の大半を過ごす大切な教育施設であり、さらに、地震などの災害発生時には

防災ラジオ普及のために 活用しました

市では、生活機能の低下により何かしらの支援が必要になった高齢者に対して、在宅で自立した生活が維持できるように、『高齢者安心生活手助け事業』に取り組んでおり、その事業費の一部に『ふるさと納税』を活用させていただきました。この事業は、介護保険サービスを利用していない高齢者を対象とするもので、市内のデイサービスセンターで食事や入浴などの日常生活上の支援を受けたり、ホームヘルパーによる食事や掃除、洗濯、買い物などの生活支援を受けたりすることができ、今後は、誰もが住み慣れた地域で、安心して自立した生活を送ることができるよう支援していきたいと考えています。



運営している防災行政無線放送が聞こえづらいという方のために、宅内受信機である防災ラジオを購入し、配布しました。その購入費用の一部に『ふるさと納税』を活用させていただきました。

防災ラジオは、宅内で鮮やかな放送を聞くことができ、ラジオや懐中電灯として使用することができます。今回購入した 1,500 台のラジオは、高齢者のみならず、障害者や要支援者の方から音声が聞こえない世帯等に順次配布しています。今後は、受信機を必要としている世帯への配布を進め、防災体制の強化に取り組んでいきたいと考えています。

今後は珠洲市のサポーターの皆様『ふるさと』を思うお心にお応えすべく、努力してまいります。引き続き『ふるさと納税』にご協力賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

珠洲市長 糸谷 浩 寿 裕